

サービスホールからのお知らせ

～ 安全対策に関する説明会の開催 ～

◆福島第一原子力発電所の事故を踏まえた柏崎刈羽原子力発電所の安全対策の実施状況に関する説明会を開催します。参加をご希望の方は、ぜひご来館ください。

開催日：1月27日（日）

① **発電所の現状に関する説明** ※事前予約は不要です。

【開催場所】 サービスホール受付前ロビー
【開催時間】 14:00～（約60分）

② **発電所構内ご案内** ※開催時間の30分前までにお申し込みください。

防潮堤・電源確保等の安全対策工事の実施状況をバス車中よりご覧いただけます。

【開催時間】 15:00～（約50分）
【お願い事項】 ご本人確認のため、運転免許証もしくは住民基本台帳カード(顔写真付)をお持ちください。

※①、②どちらか一方の参加も可能です。



12月の説明会の様子



サービスホール



【お問い合わせ】 サービスホール ☎0120-34-4053（9:00～16:30）

発電所ニュース

災害に強い発電所づくりを進めています

◆冬本番。雪や風による転倒防止などに努めながら日々の作業を行っています。



撮影日：1月11日

1～4号機側防潮堤



撮影日：1月11日

工事進捗率は約7割です。（12月末現在）

貯水池



撮影日：1月11日

12月30日に満水になりました。

みなさまの声を聞かせください
1. 「放射線」について、ご質問がございましたら、お聞かせください。

2. 発電所に対して、その他ご意見・ご質問がございましたら、お聞かせください。

ご協力ありがとうございました

みなさまからの
様々なご疑問に
本紙でお答えさ
せていただきます。
ぜひとも、日頃か
ら疑問に思ってい
らっしゃることや
ご意見を多数お
寄せください。

2013年1月27日発行（H24-R-10）
編集発行責任者
柏崎刈羽原子力発電所広報部
企画広報グループマネージャー
〒945-8601 柏崎市青山町16番地46
☎0120-120-448（平日9～17時）

安全対策の実施状況をご見学ください

- ◆『発電所安全対策見学会』を開催しています。
バスに乗ったままで発電所の安全対策をご覧いただけます。
工事中の防潮堤の様子などは今しかご覧いただけませんので、この機会に、ぜひご見学ください。

開催日	開催時間
6月30日(日)までの 毎週土曜日と日曜日	各日2回(11:00~/13:00~) ※3月23日(土)以降は15:00~ も含めた各日3回開催



バスに乗ったままでご見学



5~7号機側防潮堤

[所要時間] 約80分
[内 容] 安全対策概要説明/映像視聴/発電所構内ご案内
[申込方法] ・希望日3日前までに、サービスホールへお申し込みください。
・ご本人確認のため、運転免許証もしくは住民基本台帳カード(顔写真付)をお持ちください。

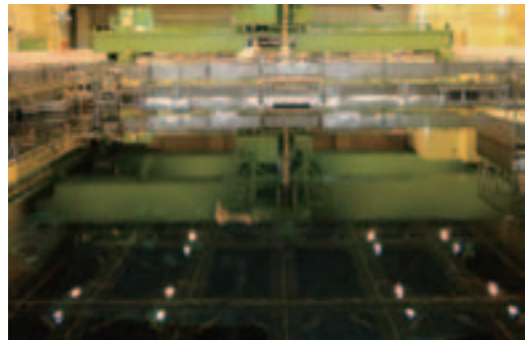
【お問い合わせ】 サービスホール ☎0120-34-4053 (9:00~16:30)

はがきでお寄せいただいた「声」にお答えします

Q. 発電に使われた燃料はどのように管理していますか？
今後、発電所内に溜まり続けるのですか？

A. 再処理工場等への搬出までの間、使用済燃料プールで適切に貯蔵・管理しています。

燃料は、原子炉の中で4年程度使用した後、新しい燃料に取り替えます。
使用済燃料は取り出し後も熱を出し続け、高い放射能を有しているため、これらを低減させるため、再処理工場等へ搬出するまでの間、使用済燃料プールで冷却しながら安全に貯蔵しています。



7号機原子炉建屋内の使用済燃料プール

■各号機の貯蔵量(平成24年9月末現在)

ユニット名	貯蔵容量(体)	管理容量(体)	貯蔵量(体)	貯蔵割合(%)
1号機	2,790	2,026	1,835	約91
2号機	3,239	2,475	1,759	約71
3号機	3,212	2,448	1,695	約69
4号機	3,209	2,445	1,660	約68
5号機	3,175	2,411	1,934	約80
6号機	3,410	2,538	2,362	約93
7号機	3,444	2,572	2,527	約98
合計	22,479	16,915	13,772	約81

※管理容量=貯蔵容量-1炉心
1~5号機の1炉心:764体 6~7号機の1炉心:872体
※貯蔵割合(%)=貯蔵量/管理容量×100

これらの使用済燃料については、青森県六ヶ所村の再処理工場で再処理することを基本としつつ、再処理能力を上回るものについては、青森県むつ市のリサイクル燃料備蓄センターに貯蔵することとしています。(これまでに1,026体の使用済燃料を六ヶ所再処理工場へ搬出)
六ヶ所村の再処理工場は、今年10月の竣工に向け、試験運転の最終段階であるアクティブ試験(実際の使用済燃料を用いた総合試験)を実施中です。また、むつ市のリサイクル燃料備蓄センターについても、今年10月に事業を開始する予定です。(工程は作業の進捗状況等により変更となる可能性があります)

今後もみなさまの声にお答えしてまいります

【シリーズ】放射線のはなし⑫

～原子力発電所で働く人たちの放射線管理～

- ◆原子力発電所では、放射線管理区域(以下、「管理区域」)で作業に従事する人の受ける放射線を法令で定める線量限度以下に管理することはもちろん、出来るだけ低く抑えるように努めています。
- ◆管理区域で作業に従事する人は、予め放射線業務従事者として登録を行います。この際、過去に受けた放射線量、医師による健康診断の結果および管理区域で作業を行う上で必要となる放射線に関する知識や守るべきルール等の教育が終了していることを確認した後、放射線業務従事者として登録します。
- ◆放射線業務従事者として登録された後は、受けた放射線量を測定し記録するとともに、定期的に健康診断を受診します。
- ◆また、各人の受けた放射線量は定期的に本人に通知されるとともに、「放射線従事者中央登録センター」に登録され、どこの原子力発電所で働いても、過去に受けた放射線量が分かるようになっています。

放射線業務従事者の線量限度は、
1年間で50ミリシーベルト
および
5年間で100ミリシーベルトです



柏崎刈羽原子力発電所における放射線業務従事者の線量の推移

単位:人・シーベルト(総線量)
ミリシーベルト(平均線量, 最大線量)

年度	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011
総線量	8.39	14.31	5.64	9.38	6.61	7.62	10.72	5.71	4.59	5.13
平均線量	1.1	2.0	0.8	1.2	0.9	0.9	1.0	0.5	0.5	0.6
最大線量	18.43	19.69	16.74	19.79	16.58	19.14	18.29	18.21	14.04	17.70

※2003年度が比較的高いのは、シュラウド・原子炉再循環系配管の補修工事など、高線量条件下での点検・補修が増加したためです。

【発電所ミニデータ】

- 柏崎刈羽原子力発電所で現在働く人は5,047人です。(1/4現在)
- 内訳は以下のとおりです。

<東京電力>		(人)
県内	柏崎市	887
	刈羽村	89
	その他	118
県外		110

<協力企業>		(人)
県内	柏崎市	2,124
	刈羽村	185
	その他	917
県外		617

<合計>	5,047
※協力企業については登録人数を計上。	

お電話番号
ご記入いただきました個人情報については、質問などへの回答、紙面づくりの参考以外では使用いたしません。
(2013年11月号)

ご住所〒

お名前

ふりがな

年齢 歳 男・女

差し支えなければご記入ください

945 8790 4

東京電力株式会社

柏崎刈羽原子力発電所

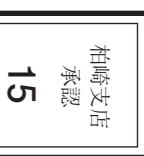
広報部 行

(柏崎支店私書箱53号)

郵便はがき

945-8790

料金受取人払郵便



柏崎支店 承認

15

平成25年3月31日まで

(切手不要)